

# 工事を受注された皆様へ



## 工事故の根絶に向けて！

県発注工事で事故が増加しています。特に、**墜落・転落、地下埋設物関係等の事故**が多く発生しています。

安全訓練、新規入場者教育を実施する際には、このチラシを用いて、**全ての作業員に周知**し、事故防止に努めてください。

## 令和6年度 事故発生事例

	事故概要	発生原因
1 墜落・転落	生コン打設後の養生シート設置作業中に、シートの端を整えるため型枠止め金具に登り、降りる際に足を滑らせて高さ1mから落下、金具で足に擦り傷を負い、落下後転倒し左肩を打撲した。	・安全な箇所で作業すべきところ、低所での作業と認識し、本来の用途ではない型枠止め金具に登ってしまった。 ・足場を設置していなかったため、不安全な行動を引き起こしてしまった。 ・作業手順の確認および安全教育が不十分であった。
2 その他（労災）	型枠解体作業中（足下高2.6m、作業床なし）に、剥がれない合板を切り分けて撤去しようと、グラインダーを両手で持ち合板を切断していたところ、グラインダーが下方に跳ねバランスを崩した。右手で持っていたグラインダーの刃が左手に接触し、左手の人差し指、中指、薬指の3本を負傷した。	・高所にもかかわらず適正な足場が設置できていなかった。 ・足場のない高所で型枠解体作業をした。 ・作業手順にない方法で型枠解体作業を行った。 ・作業中の監督指示が不十分であった。 ・型枠解体に関する作業手順書に、足場に関する記載がなかった。 ・グラインダー使用時の危険要因・注意点の周知が不十分であった。 ・経験の浅い型枠工に単独で作業させた。
3 地下埋設物	歩道縁石撤去時に水道管を破損した。	・作業手順が作成されておらず、地下埋設物についての事前調査や確認、安全性の事前検討が不十分。
4 上空施設	ボックスカルバートの床掘作業中、バックホウ旋回時に、ブームと個人宅への引込線（テレビ徳島）が接触し、線を切断。	・架空線下の作業を想定していなかった。 ・架空線注意に関する指示が不十分であった。 ・防護管等の安全対策が不十分であった。
5 除草中の石跳ね	車道側と歩道側に各1枚の飛散防止ネットを使用していたが、防護柵の高さが低かったため、飛び石が防止ネットのカバー範囲を飛び越し、隣接駐車場に駐車していた軽自動車のリアガラスを破損させた。	・使用した飛散防止ネットの寸法（幅2.0m、高さ0.9m）が十分ではなかった。

## 工事故防止のために

- ・ **高さが2m以上**の箇所で作業を行う場合は、「**墜落防止チェックシート**」による日常点検を実施してください。
- ・ 輸送経路、残土処理場等も含めた**工事箇所全体**の支障物件について、「**支障物件確認書**」により管理者の確認を受け、監督員に報告してください。
- ・ 地下埋設物が予想される場所では、原則**試掘**を行うと共に占有者等と緊密な情報交換に努め、**当該埋設物の位置、構造等を確認**してください。
- ・ 休日・夜間に作業を行う時は、**事前に「休日・夜間作業届」**を監督員に提出するとともに、**発注者の緊急連絡先を監督員に確認**してください。